



## お世話になりました…

早いもので、大草に来てから2年が経とうとしています。

自分が生まれ育った環境と同じように、自然に囲まれた大草。そこで伸び伸びと育つ子どもたち。少ないからこそ、誰もが出番を求められる学校行事や授業。大草だからこそその成長曲線を描いて伸びていく子どもたちを見るのは、教師冥利につきるものでした。わずか2年でも子どもたちの無限の可能性を見ることができて本当に幸せでした。

塾長をはじめとする大草塾、まちづくり協議会、大草村など多くの地域応援団の皆さん…。学校を盛り上げたいと思う多くの人たちが、共に学校づくりに関わってくださいました。皆さんとの学校づくりは、本当に楽しかったです。

特に米作りについては、亡き父との作業を思い出し、懐かしい気持ちに浸らせてもらいました。関わってくださる年上の方に、どこか父の姿を重ねて見ている自分がいました。とても頼りになる方がたくさんいてくださいました。皆さんと共に学校づくりができたことに改めて感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

特に思い出に残る行事は、「焼野」へのチャレンジウォークです。百周年記念誌に何度も登場する「焼野」。そこに遠足や運動会に行っていたという昔の卒業生の思い出。ぜひ、今の子どもたちにも味わわせたいという思いを、2年越して叶えることができました。何度も下見を重ね、昼食を手配していただき、安全に細心の注意を払って、何とか実施することができました。9キロ弱という距離は決して楽ではありませんが、声をかけ、励まし合って登る姿に「行事で人は育つ」ことを改めて感じるすることができました。地域の皆さんや保護者の皆さんのチームワークも嬉しかったです。

大草太鼓を中学生とコラボさせたい、という思いも叶えることができました。「やがては地域の大草太鼓へ」という種をまくことができたと思います。圧巻の「草萌風舞」もしっかりと引き継いでいくことでしょ。

まだまだやりたいことは山積みだったのですが、こればかりは仕方ありません。前教頭を追いかけてというわけではありませんが、行政職で諫早の先生や子どもたちのために力を尽くしていきたいと思います。2年間本当にお世話になりました。

末筆ながら大草で出会ったすべての皆さんのご健康とご多幸を祈念して学校だよりを閉じたいと思います。150周年記念式典でお会いできるのを楽しみにしております。